

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社 日立物流	代表執行役社長	中谷 康夫	東京都	運輸業, 郵便業	<a href="http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/">http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	
-------	--

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	① 物流の改善提案と協力	ドライバーの作業負担低減を図るだけでなく、運行及び倉庫業務の効率向上にも努めることで車両確保の安定化・早期化が可能となるよう、パートナー企業と一体となり顧客へ積極的に提案します。
2	A	③ パレット等の活用	パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間の削減を推進します。あわせてパレットの規格等資機材の標準化に取り組めます。
3	A	⑨ 荷主側の施設面の改善	倉庫等の物流施設の集約・増設・レイアウト変更等を行い、荷待ち時間や荷役時間の短縮に取り組めます。
4	A	⑭ 船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送について、トラックからフェリー、RO-RO船や鉄道の利用への転換を推進します。
5	D	① 荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、作業職場及び荷役機器の安全対策、事故事例揭示による周知や危険個所明示による作業員への注意喚起等安全教育の日々実施を講じて、事故防止の徹底を図ります。
6	F	① SSCV(スマート安全運行管理システム)を活用した持続可能な物流の実現	当社独自開発のSSCV(Smart&Safety Connected Vehicle:スマート安全運行管理システム)により、自社及び協力会社の安全輸送を実現するとともに労働環境改善に努めて参ります。

PR欄	SSCV(Smart&Safety Connected Vehicle:スマート安全運行管理システム)とは、IoT及びAIを駆使してドライバーを事故から守り、輸送協力会社を支援、安心、安全で効率的な輸送事業のための当社独自開発のプラットフォームです。 <参考>SSCVポータルサイト : <a href="http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/sscv/">http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/sscv/</a>
-----	--